

令和 6 年度第 3 回山口南警察署協議会会議録

開催日時		令和 7 年 2 月 2 8 日（金） 午後 3 時 1 5 分から午後 4 時 4 5 分までの間
開催場所		山口市小郡下郷 3 8 4 8 番地 1 山口南警察署 4 階 講堂
出席者	委員	原田委員、西村委員、上野委員、伊藤委員、仙石委員、 宇佐川委員、福江委員 計 7 名
	警察	本部長、署長、副署長、会計課長、警務課長、留置管理課長、 生活安全課長、地域課長、刑事課長、交通課長、警備課長 計 1 1 名
議題		1 業務説明 2 デジタル化の効果が実感できる運転免許行政の推進
1 会長挨拶 今年度の最後を締めくくる警察署協議会を開催するに当たり、熊坂警察本部長の出席を賜り、感謝申し上げます。 さて、今回の諮問事項は「デジタル化の効果が実感できる運転免許行政の推進」についてである。今や 1 6 歳以上の約 7 5 パーセントが運転免許を保有しており、免許に関する事務手続は私たち市民にとって重要で、関心の高い問題と言える。働き方が多様化し、また高齢ドライバーも増える中、便利で分かりやすい免許手続になってほしいと願う。 委員の皆様には積極的な意見交換や提言をしてもらい、それを今後の警察署の運営に役立てていただきたいと考えている。 2 署長挨拶 (省略) 3 警察本部長挨拶 (省略)		

4 業務説明

令和6年の業務推進状況について、以下の項目に沿って説明した。

- (1) 警務課関係
警察安全相談の受理状況
- (2) 生活安全課関係
ア 犯罪抑止
イ 少年非行
- (3) 地域課関係
ア 110番受理状況
イ 地域安全活動
- (4) 刑事課関係
ア 刑法犯の認知・検挙状況
イ うそ電話詐欺の認知状況
- (5) 交通課関係
交通事故の発生状況

5 質疑応答・意見要望

(委員)

山口南警察署交通課が主催のセーフティナイトスクールが開催されるということで、地域の方へ参加を呼びかけたところ、「最近、対向車のライトが明るすぎて眩しいと感じる」という意見があった。ライトは暗いと車検に通らないが、明るすぎることはないのか。

(交通課長)

明るさには法定の基準がある。

ハイビームはロービームと比べると照射範囲が広く、より遠くを照らすため、対向車とすれ違う時以外はハイビームにするようお願いしている。

(委員)

交通関係の説明でミニ検問についての話があったが、検問は海外においても麻薬等の違法薬物所持者を取り締まるのに非常に効果的だと聞いた。日本でもしっかりと安全を確保したうえで積極的に実施していただきたい。

6 諮問事項説明

「デジタル化の効果が実感できる運転免許行政の推進」について、交通課長が以下の項目に沿って説明した。

- (1) 運転免許行政のデジタル化
 - ・ 自動申請受付機の導入
 - ・ 運転免許証とマイナンバーカードとの一体化
- (2) 課題
 - ・ 手続フローの複雑化
 - ・ 手数料の細分化
 - ・ 非効率な業務運営

(3) 取組

- ・ 実態に即した運転免許行政の実現
- ・ 県民のニーズに応じた施策
- ・ システム障害を想定した訓練の実施

7 協議

(委員)

今後、マイナ免許証に移行した場合は、マイナ免許証を画像に表示して確認するようになるのか。

(交通課長)

マイナ免許証をかざすことで自身の情報を確認できるアプリが、3月24日までにはできる。

(委員)

暗証番号の入力が必要になるのか。

(交通課長)

暗証番号の設定は必要である。まず、マイナ免許証の申請時に、マイナンバーカードを登録した際の6桁から16桁の暗証番号が必要となり、その後、免許証情報を表示するための暗証番号を4桁で設定してもらうようになる。

(委員)

今まで身分証として免許証を提示する場面が多かった。三種類の持ち方があると説明を受けたが、運転免許証の提示を求められたときはどうすればいいのか。

(交通課長)

携帯電話等で免許情報を表示することができる。

(委員)

実際に使用してみなければ分からないことも多い。マイナンバーカードには個人番号があるが、運転免許証の番号も統一されるのか。

(交通課長)

マイナ免許証の番号と運転免許証の番号は、別々のものが付与される。

(委員)

マイナ免許証にすることで手数料が安くなると聞いたが、マイナ免許証を紛失すると再発行までに時間がかかるため、その間運転ができないと困るのではないかと不安に思う。また、2つ持ちでは手数料がかかってしまう。

(交通課長)

警察官が運転者に免許証の提示を求める際は、マイナ免許証を見ただけでは内容が分からないため、警察官が携帯端末にマイナ免許証をかざして確認できるようになっている。

マイナ免許証を紛失した際には、マイナ免許証の再交付までに長くても一か月近くかかる自治体もあると聞いている。まずは各自治体においてマイナンバーカードの再交付手続きを行い、交通センターでは運転免許証の即日交付ができるので、そこで手続きをすれば車の運転は可能となる。

(委員)

今はマイナ免許証への移行であるが、将来的には携帯電話の中に免許証の情報が入るようになるのか。携帯電話を持っていれば、免許証不携帯もなくなるのではないか。

(交通課長)

現時点、そのような話は出ていない。

(委員)

マイナンバーカードとマイナ免許証は、見た目で区別できるのか。

(交通課長)

見た目だけでは分からない。免許証情報はＩＣチップの中に入っている。

(委員)

マイナ免許証の方が安価でよいと思うが、スマホを持っていない人やマイナンバーカードを使うことがない人は必然的に両方持ちになるのではないかと感じた。

また、マイナンバーカードを見ただけでは次回の免許更新がいつなのか分からないため、なかなか受け入れられないのではないだろうか。

(交通課長)

生活ニーズに合わせて選択できなければ支障が出る人もいると思うので、任意で選んでもらうようになっている。

(委員)

デジタル化は社会の仕組みであるため、やらなければならないことは理解している。更新時の講習や免許証の返納もデジタル化し、家庭でできるように進めばよいと思う。

今から免許を取得する若い方に対して、マイナ免許証を推進していくのか、それとも本人の選択に任せるのか教えていただきたい。

(交通課長)

現在のところは、取得者に任意で選択してもらうことになっている。

(委員)

免許証の更新通知は無くなるのか。

(交通課長)

更新の案内通知は従来通り届く。

(委員)

マイナ免許証を申請し運転免許証も申請すると、同時に免許証が２枚あることとなるが、悪用される恐れはないのか。

(交通課長)

悪用されたときの対策は、今後考えていかなければならない。

(委員)

マイナ免許証は常に最新の情報に更新されるが、運転免許証の方は見ただけでは分からない。やはり、通常の免許証を減らしていかなければならないと思う。デジタル化が業務負担になってはいけないので、対策しながら改善に取り組んでもらいたい。

(委員)

AndroidやiPhoneなど、携帯電話の種類は問わないのか。

(交通課長)

それぞれ専用のアプリが導入される。

(委員)

携帯もパソコンも持っていない人はどうするのか。

(交通課長)

そうした人がマイナ免許証だけにしてしまうと、随時免許証を見ることができず更新時期も分からなくなるので、利便性を考えると従来の免許証の方がよいと思われる。

8 警察本部長所感

まず、ロービームとハイビームでは見える距離が全然違うので、夜間の走行時には、やはりハイビームでなければ危ない。実際にどれだけ見え方が違うのか体験することが重要であるので、ぜひナイトスクールなどに参加していただきたい。

次に、昨年飲酒ひき逃げ事案が発生し、その後も飲酒が絡む事故が続いたことから、県警としては飲酒取締りをしなければならないということで、ミニ検問を実施している。こうした県民に見せる活動を行うことが抑止力となるので、夜間を中心に検問を行っている。交通取締りは事故が発生した路線を中心に行い、またパトロールも危険箇所を中心に回っているので、ご理解いただきたい。

免許証を求められた場合、それが身分証の確認という趣旨であれば、マイナ免許証で対応できる。また、レンタカーの貸出しなどについては、免許証を確認する必要があるため、先ほど交通課長が説明したとおり、アプリで表示するか免許証を提示することとなる。

保険証は廃止のために一本化となったが、免許は廃止するわけではないので、好きな方を選べる。警察は一体化を推し進めているわけではないので、別々で持っていた方が安心だと感じられる方は、今までどおりマイナンバーカードと免許証の2個持ちでいいと思う。

9 配付資料

令和6年度第3回警察署協議会資料（警察署作成）

10 その他

令和7年度第1回警察署協議会の日程は、別途調整することとした。